

ordina+

シングルワンホールスプレー混合栓

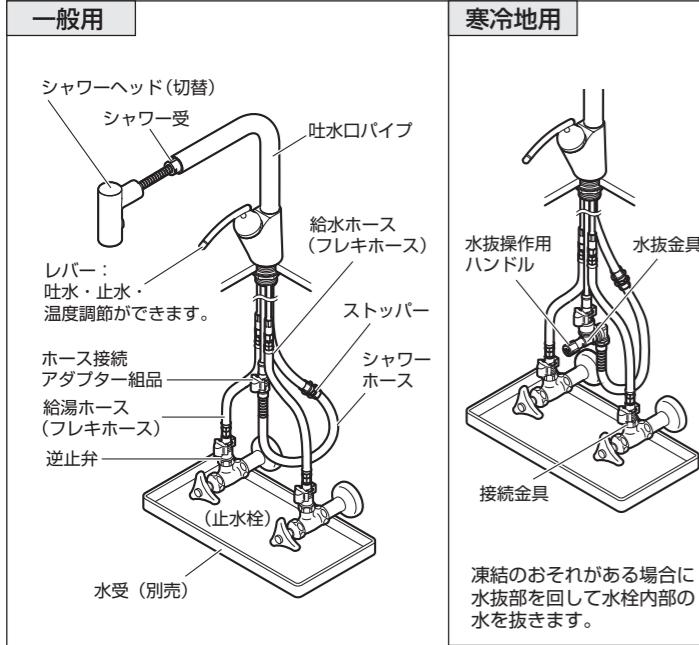
(寒冷地用) K87502EJV-13
(寒冷地用) K87502EJK-13

施工説明書

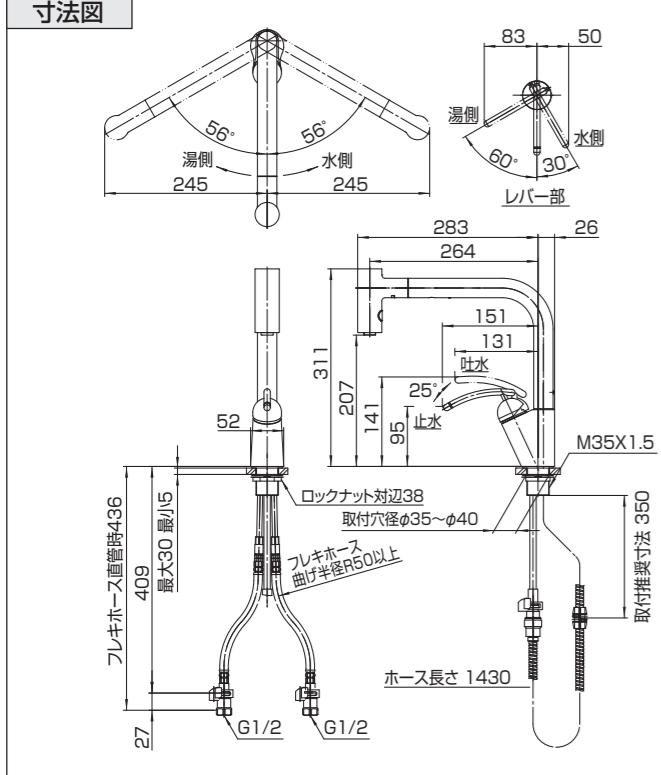
- 施工の前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
- 施工後、保証書に貴店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、この説明書をお客様へお渡しください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

本製品について 各部の名称・寸法図

- 本製品は、レバーで吐水・止水・温度調節ができる操作しやすい混合栓です。
- 吐水・止水が簡単に行えますので、節水にも役立ちます。



- ストッパーは、シャワーホースの引き出し長さを設定するためのものです。
- 水受（別売）は必ず設置してください。
万が一、水がホースを伝わって落ちても床を濡らさないので安心です。
- 水勢調節及び製品の点検を容易にするために、別途止水栓をご用意ください。



施工について 施工に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

用語および記号の説明

注意	「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
△	「注意しない！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）
○	「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
!	「分解してはいけません！」（一般的な行動指示記号です。）

△ 注意

- 修理技術者以外の人は、水栓本体内部を分解しないでください。
故障や水漏れの原因になります。
- 製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や水漏れの原因になります。
- 湯水を逆に配管しないでください。
正常に作動しないため、やけどをする事があります。
- 給湯温度は85°Cより高温で使用しないでください。
85°Cより高温でご使用になると、器具の寿命が短くなり、水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 同梱の部品以外は使用しないでください。
故障や水漏れの原因になります。
- 水受（別売）は必ず設置してください。
使用中に水がシャワーホースを伝って漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 水はねが気になる場合は、止水栓で流量を絞ってください。
- （寒冷地用の場合）凍結が予想される場所でご使用になる場合は「寒冷地用の水抜方法」を参照の上、凍結予防を確実に実施してください。
部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- （寒冷地用の場合）水抜部は水抜き以外の目的で開けないでください。
水抜部を開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

施工について 適切な使用条件

〔水圧について〕

給水・給湯圧力	最低必要水圧(流動時)	最高使用水圧(静止時)
	0.05MPa	0.75MPa

- 給水・給湯圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2~0.3MPa程度に減圧してください。
- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給湯圧力は必ず0.05MPa以上にしてください。

〔給湯機について〕

使用最高温度	85°C以下

- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、42~60°C給湯をおすすめします。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- シャワーを使う際には、条件に適したガス瞬間式給湯機の号数（能力）が必要です。四季を通じて快適なシャワーを得るために、給湯能力12号以上をおすすめします。
- 本製品は、給湯が止まつた状態でレバーを湯側で上げていると少量の水が出ますが、これは器具の破損防止のためであり、異常ではありません。

〔水質・用途について〕

使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水

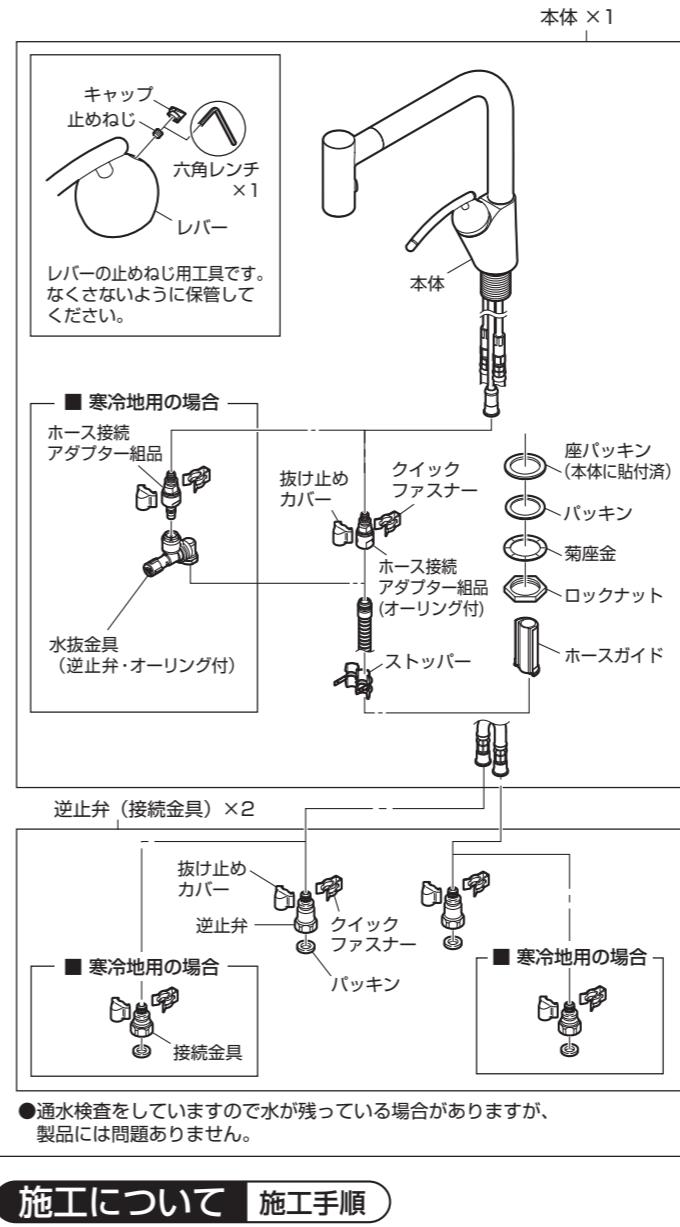
用途	一般住宅用

施工について 施工前のご注意

- 給水は、上水道に接続してください。
- 取付後の保守点検のために必ず止水栓（別売）と点検口を設けてください。
- 止水栓は、ストレーナ付をおすすめします。
- 開栓、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。
- 配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

施工について 梱包明細

●施工説明書・取扱説明書「保証書付」×各1



●通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

●配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

●止水栓がドライバー式の場合は必要な工具

●マイナス ドライバー

●取付後

●奥まで確実にはめ込んでください。

●シャワーヘッドがスムーズに引き出せないことがあります。

●ホースガイド

1 配管内の掃除をします。

注意

配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

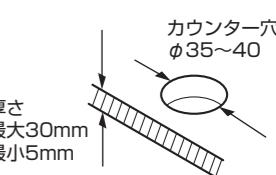
水栓金具内にゴミなどが混入すると止水不良や水栓の故障の原因となり、この場合には有償修理となります。

2 新しい水栓を取付けます。

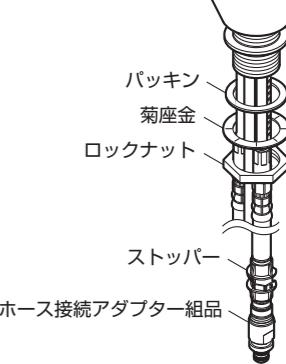
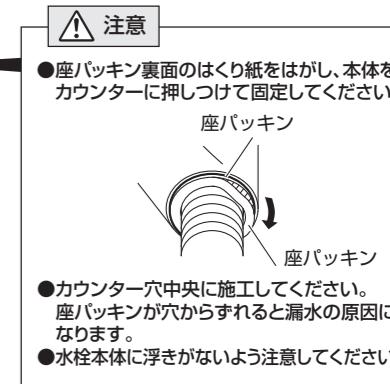
(1) カウンター穴の寸法を確認し、本体を入れてください。

△ 注意

カウンターに厚みのない場合や、取付面が弱い場合は補強材などを設けてください。



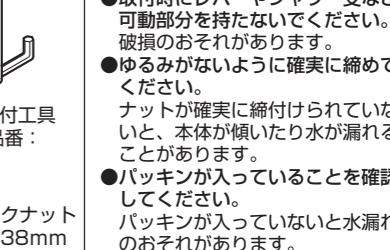
(2) ホース接続アダプター組品（寒冷地用の場合は水抜金具）とストッパーをはずし、本体からロックナット・菊座金・パッキンをはずします。

(3) 本体が正面を向くように締付工具で固定してください。
※ 本体下部の突起が正面の目印になります。

●座パッキン裏面のはり紙をはがし、本体をカウンターに押しつけてください。

●カウンター穴中央に施工してください。座パッキンが穴からずれると漏水の原因になります。

●水栓本体に浮かないよう注意してください。



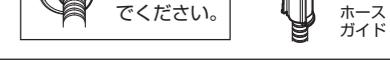
△ 注意

●取付時にレバーやシャワーホースなどの可動部分を持たないでください。破損のおそれがあります。

●ゆるみがないように確実に締めてください。

●ナットが確実に締付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。

●パッキンが入っていることを確認してください。パッキンが入っていないと漏水のおそれがあります。

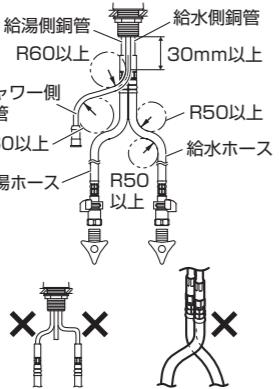




銅管・ホース施工上の注意点

※下記注意事項は必ず守ってください。
銅管・ホースが折れ、折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。
銅管・ホースが折れた状態でご使用にならないでください。

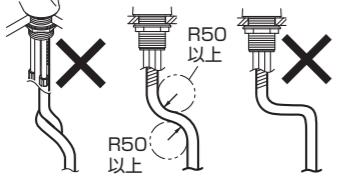
- シャワー側銅管は取付端面から30mm以上のストレート部を確保して、その位置から曲げてください。
給水・給湯側銅管は曲げないでください。
- 銅管の最小曲げ半径は60mm、ホースの最小曲げ半径は50mmです。
銅管・ホースを極端に屈曲しないでください。
- 銅管・ホースを必要以上の力で曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。
- 銅管・ホース同士の不要な接触は避けてください。
摩耗による外傷で銅管・ホースの性能劣化の可能性があります。



シャワーホース施工上の注意点

※下記注意事項は必ず守ってください。
ホースが折れ、折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。

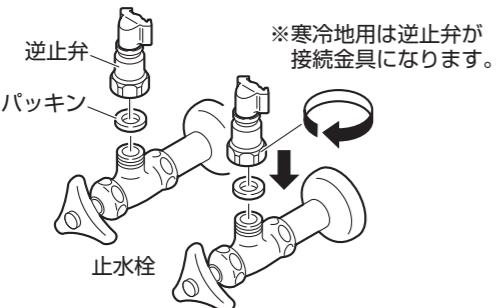
- シャワーホースを必要以上の力で曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。
- シャワーホースの最小曲げ半径は50mmです。シャワーホースを極端に屈曲したりねじったりしないでください。



(4) 固定後、(2) ではすしたホース接続金具（寒冷地用の場合は水抜ジョイント）をシャワーホースに取付けてください。

3 逆止弁（寒冷地用は接続金具）を取付けます。

カウンター表面から給水・給湯ホース先端までの長さの確保を行ってから逆止弁を止水栓などに固定してください。



注意

- ゆるみがないように確実に締めてください。
逆止弁が確実に締付けられていないと、水が漏れることがあります。
- パッキンが入っていることを確認してください。
パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。

4 逆止弁（寒冷地用は接続金具）と給水・給湯ホースを接続します。

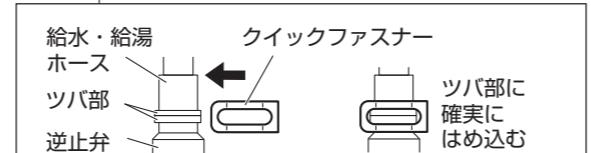
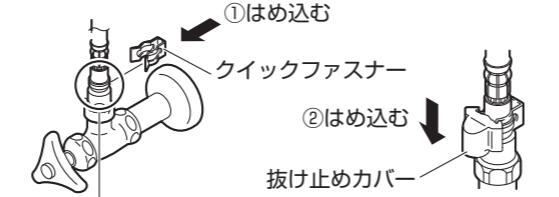
(1) 逆止弁の抜け止めカバーをはずし、給水・給湯ホースを逆止弁のツバ部がすき間なく合うまで差し込んでください。



注意

- 逆止弁のオーリングの傷、ゴミかみに注意してください。
- 抜け止めカバーは、クイックファスナー接続の際に必要なので、なくさないようにしてください。

(2) クイックファスナーを給水・給湯ホースと逆止弁のツバ部に確実にはめ込んでください。
次に抜け止めカバーをクイックファスナーに確実にはめ込んでください。



注意

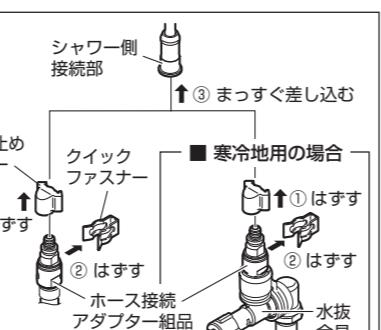
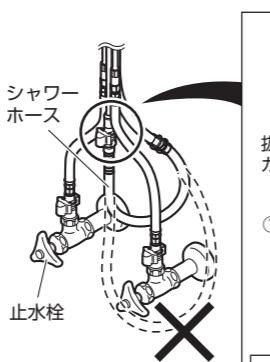
- クイックファスナーは、ケガのないよう取扱いには注意してください。
抜け止めカバーをはめたままにしてください。
- クイックファスナーは、広げないでください。
- 給水・給湯ホースを上向きに引っ張って抜けないことを確認してください。

5 シャワーホースを接続します。

(1) ホース接続アダプター組品の抜け止めカバーとクイックファスナーをはずし、シャワー側接続部にホース接続アダプター組品をツバ部のすき間がなくなるまで差し込んでください。

注意

- ホース接続アダプター組品（寒冷地用は水抜金具）のオーリングの傷、ゴミかみに注意してください。
- 抜け止めカバーは、クイックファスナー接続の際に必要なので、なくさないようにしてください。
- クイックファスナーは、ケガのないよう取扱いに注意してください。
- クイックファスナーは、広げないでください。



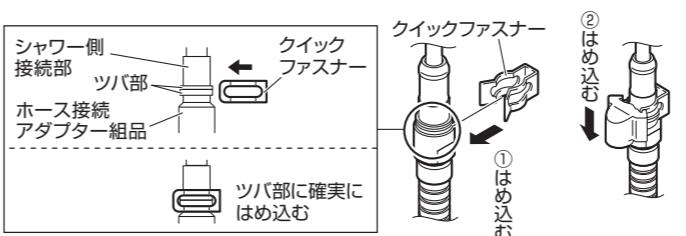
(2) クイックファスナーをシャワー側接続部とホース接続アダプター組品のツバ部に確実にはめ込んでください。次に抜け止めカバーをクイックファスナーに確実にはめ込んでください。

注意

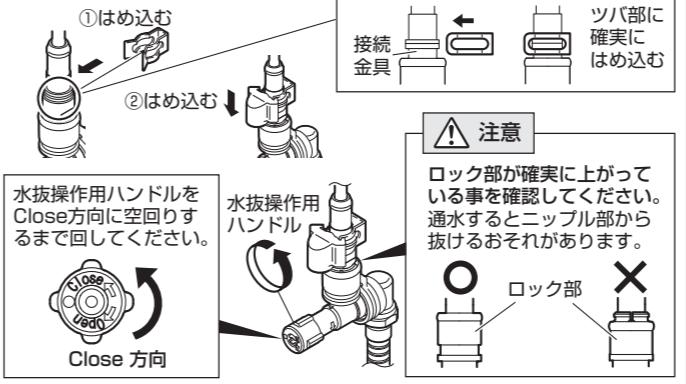
- クイックファスナーは、ケガのないよう取扱いには注意してください。
- クイックファスナーは、広げないでください。
- シャワーホースを下向きに引っ張って抜けない事を確認してください。
- シャワーヘッドを引き出し、シャワーホースがスムーズに動くか確認してください。
シャワーホースがスムーズに動かない場合は、給水・給湯ホースを左右に広げて、シャワーホースの通る空間を確保してください。
銅管に引っ掛かる場合は、銅管を曲がらない程度に広げてください。

注意

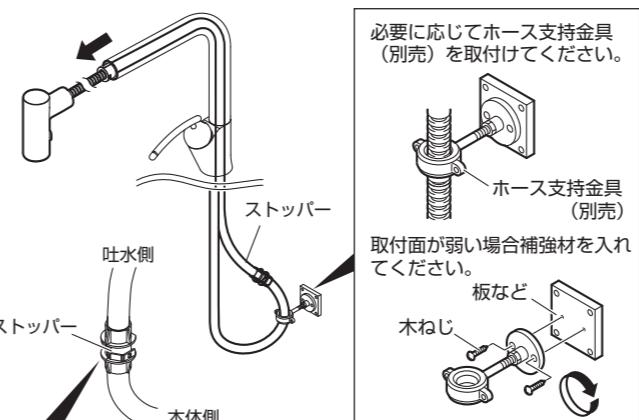
- ホース接続アダプター組品（寒冷地用は水抜金具）とシャワーホースをはずした場合は、回らなくなるまで締付けた後、工具などで確実に締付けください。（締付けトルクの目安：1.5N・m 締付けラインを目安に締付けください。）



■ 寒冷地用の場合



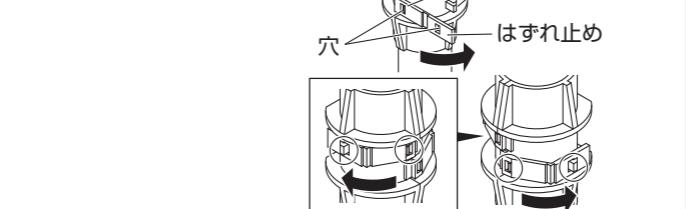
(3) シャワーホースにストップバーを取付けてください。



1 ストップバーの突起とシャワーホースの溝をあわせて、はさみ込みます。



2 はずれ止めの穴にツメを入れます。
(右側2箇所、左側2箇所)



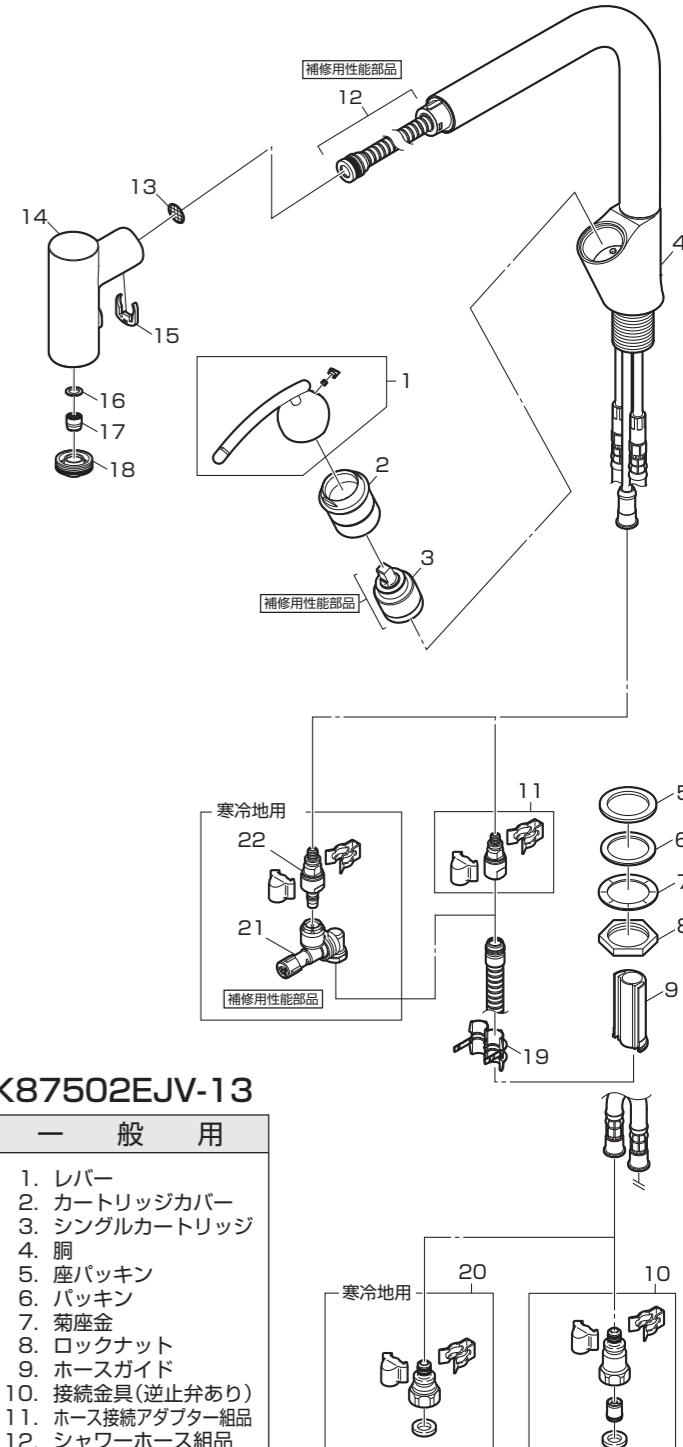
6 ガタツキ・水漏れチェックをします。

接続後、各部にガタツキがないか必ず確認してください。
ガタツキの確認後、止水栓を開いて各部に水漏れないか必ず確認してください。
水漏れがある場合は、もう一度はじめからやり直してください。



こんなときは 本製品の構造

本製品の構造を表したイラストです。
構造をご理解いただくのにご使用ください。



K87502EJV-13

一般用
1. レバー
2. カートリッジカバー
3. シングルカートリッジ
4. 脳
5. 座パッキン
6. パッキン
7. 菊座金
8. ロックナット
9. ホースガイド
10. 接続金具(逆止弁あり)
11. ホース接続アダプター組品
12. シャワーホース組品
13. ストレーナ網
14. シャワーヘッド
15. ホース止め
16. パッキン
17. 整流器
18. シャワー板
19. ストップバー

K87502EJK-13

寒冷地用
20. 接続金具(逆止弁なし)
21. 水抜金具
22. ホース接続アダプター組品

SANEI 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号

カスタマーセンター ☎ 0120-06-9721

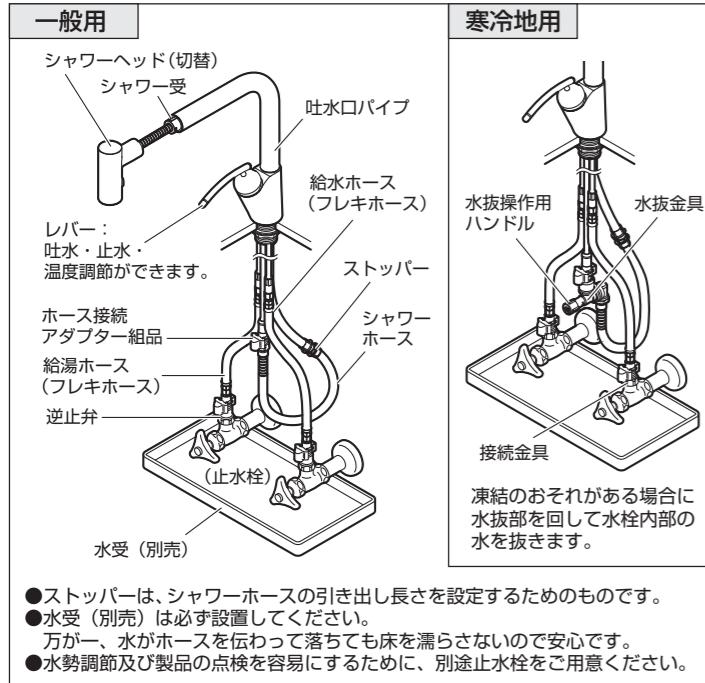
受付時間 9:00~17:30(土日祝除く)

取扱説明書

- ご使用の前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。
- 保証書にお買上げ（お取付け）年月日、販売店（工事店）名の記入のない場合はお買上げ（お取付け）の販売店（工事店）に申し出でいただきか、レシート又は領収書を貼付してください。

本製品について 各部の名称

- 本製品は、レバーで吐水・止水・温度調節ができる操作しやすい混合栓です。
- 吐水・止水が簡単にできますので、節水にも役立ちます。



- ストッパーは、シャワーホースの引き出し長さを設定するためのものです。
- 水受(別売)は必ず設置してください。
- 万が一、水がホースを伝わって落ちても床を濡らさないので安心です。
- 水勢調節及び製品の点検を容易にするために、別途止水栓をご用意ください。

ご使用について ご使用に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。

いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告	「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」
注意	「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
	「注意しなさい!」(上記の「注意」「警告」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)
	「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)
	「分解してはいけません!」(一般的な行動指示記号です。)
	「指示した場所に触れてはいけません!」(一般的な行動指示記号です。)

警告

- 小さいお子様だけのご使用は、避けてください。
やけど・けがをするおそれがあります。

注意

	朝一番の使い始めの水は飲まずに別の用途にお使いください。 しばらく使われないと、シャワーホース内の水は消毒用の塩素がなくなってしまい、におうことがあります。
	製品に強い力や衝撃を与えないでください。 故障や漏水の原因になります。
	分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。 器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

! 注意

! **凍結が予想される場所でご使用になる場合は、凍結予防を確実に実施してください。**
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

●水栓の左側には直接肌を触れないでください。
給湯側のため高温になっており、やけどをするおそれがあります。

●高温の湯をお使いのときは、シャワーホースに直接肌を触れないでください。
シャワーホースは高温になっているのでやけどをするおそれがあります。

(給湯器の設定温度について)
給湯温度は85°Cより高温で使用しないでください。
85°C以上でご使用になると器具の寿命が短くなります。なお、誤操作などによるやけど防止のため、42~60°C給湯をおすすめします。

シャワーには高温の湯（60°C以上）を通さないでください。
給湯温度が60°C以上の場合は、吐水温度が60°C以下になるように調節してください。
シャワーヘッドが破損し、やけどをするおそれがあります。
安全のため、適温での使用をおすすめします。

湯をお使いの後は、しばらく水を流してから止水してください。
次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。

定期的に、配管周りの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。
次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。

レバーの温度位置を確かめて吐水してください。
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

レバーは、ゆっくり動かしてください。
レバーを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

高温の湯を使いの後は必ずレバーを水側に戻してください。
次に使用する際、いきなり高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがありますのでご注意ください。
やけどのおそれがあります。

シャワー受先端やレバーに重いものを下げる、力をかけて回したりしないでください。
摩耗、変形などでパッキンの寿命が短くなり、吐水時に接合部から微少の水がにじみ出るおそれがあります。また、力をかけて回すと部品などが破損し家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温であることを確かめてください。
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

解氷機やアースを水栓に通電しないでください。
水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

長期間使用しない時は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。
水漏れなどの事故の原因になります。

(樹脂メッキ付部品の場合)
樹脂メッキ部品には、下記のことを行わないでください。
●銳利な物を当てる **●衝撃を与える** **●落とす**
メッキの表面が割れ、ケガをするおそれがあります。万が一メッキの表面が割れた場合は、早めに新しい部品に交換してください。
【樹脂メッキ部品の例】
・シャワーヘッドなど

メッキ面がはがれた場合、放置しないでください。
メッキ面がはがれた部分でケガをするおそれがあります。

シャワーホースをねじったり、無理に曲げないでください。
シャワーホースが破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

シャワーホースやシャワー受に水をかけないでください。
水が浸入して漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

シャワーホースを引き出してお使いになるときは、水をはった洗いおけなどにシャワーヘッドやシャワーホースをつけないでください。
汚水が器具に逆流したり、水がシャワーホースを伝わって落ち、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

水受(別売)がシャワーホースの真下にあるか確認してください。
万が一、水がシャワーホースを伝わって落ちた場合、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

日頃から、ときどき吐水口パイプを回してください。
吐水口パイプを長期間回さずに使用すると水あかなどが付着し、無理に回そうとすると、水漏れの原因になります。

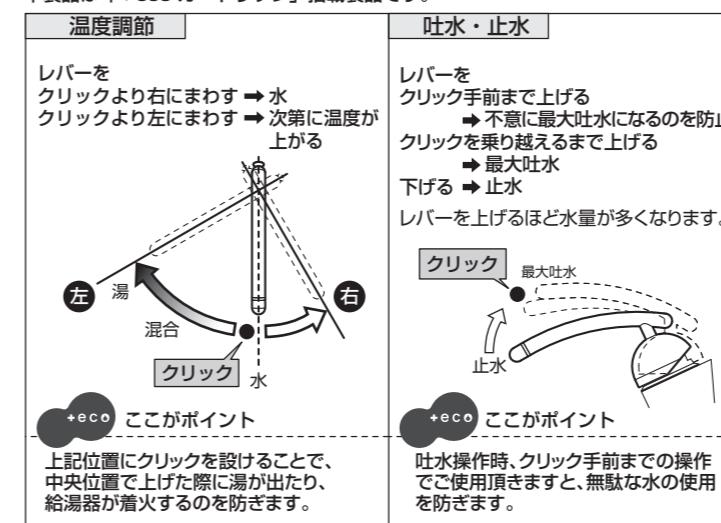
! 注意

(寒冷地用の場合)
凍結が予想される際は、配管と水栓の水抜き操作を同時に実行してください。
凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

(寒冷地用の場合)
水抜部は水抜き以外の目的で開けないでください。
水抜部をいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

ご使用について 吐水・止水・温度調節

レバーで吐水・止水・温度調節ができます。
本製品は「+eco カートリッジ」搭載製品です。



高温の湯が出ないときは？

レバーを湯側にまわしても高温の湯が出ないときは、給湯機（給湯リモコンなど）の給湯温度を42~60°Cに設定した後、水栓側のレバーを湯側にまわしてください。



(注) 水温の高い夏場で吐水量を少なくして使うと瞬間式給湯機の場合、着火しないことがあります。
この場合には、水栓側のレバーを全開に（吐水量を多く）するか、給湯機の温度設定を下げてください。

ご使用について シャワーの使用方法

シャワーは引き出せます。

吐水口パイプは左右に動きます。
シャワーは左右に動かして整流吐水・シャワー吐水の切替えができます。

シャワーヘッド
吐水口パイプ

整流吐水 **切替ボタン** (押して離す)
シャワー吐水

シャワーヘッド は出し入れ可能です。
出し入れにくい場合は、シャワーを手添えて操作してください。

△ 注意
止水後、シャワーから水滴がしばらく落ちる事がありますが、シャワー内の残留水です。異常ではありません。
いつもボタボタ出しているのは、ハンドルの閉め方がゆるいか水栓のバルブ開閉ユニットが故障しているかどちらかです。
しかし、使用直後の一定時間だけの現象であれば閉め方、摩耗や故障ではありません。
シャワー内の水はシャワー散水板の表面張力により滞留しています。
振動などによる気圧の変化などにより表面張力が弱くなり、ボタボタと流れ出ることがあります。

*残水を抜きたい場合は、シャワーヘッドをよく振ってください。

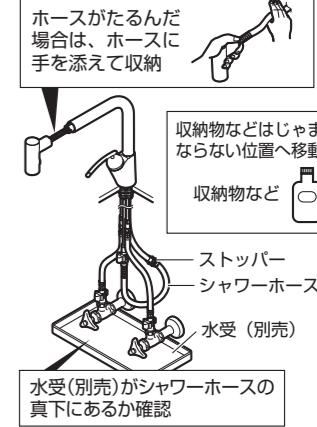
! 注意

●カウンターアップなどに収納物などを置いている場合は、シャワーホースがあたらない位置に移動してください。シャワーホースにあたると収納性に影響を与える場合があります。

●シャワーホースが止まる程度まで引き出すとスムーズに戻らない場合があります。ご注意ください。

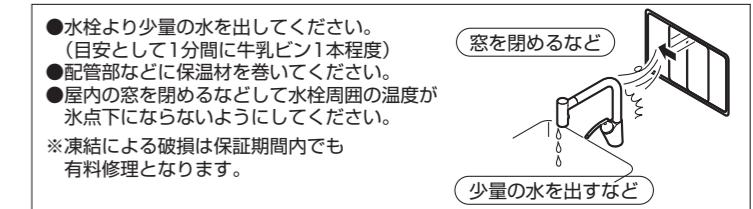
●ホースを引き出した際にホースがたるんだ場合は、ホースに手を添えて収納してください。

●水受(別売)がシャワーホースの真下にあるか確認してください。
万が一、水がシャワーホースをわって落ちた場合、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



凍結予防について 一般用の場合

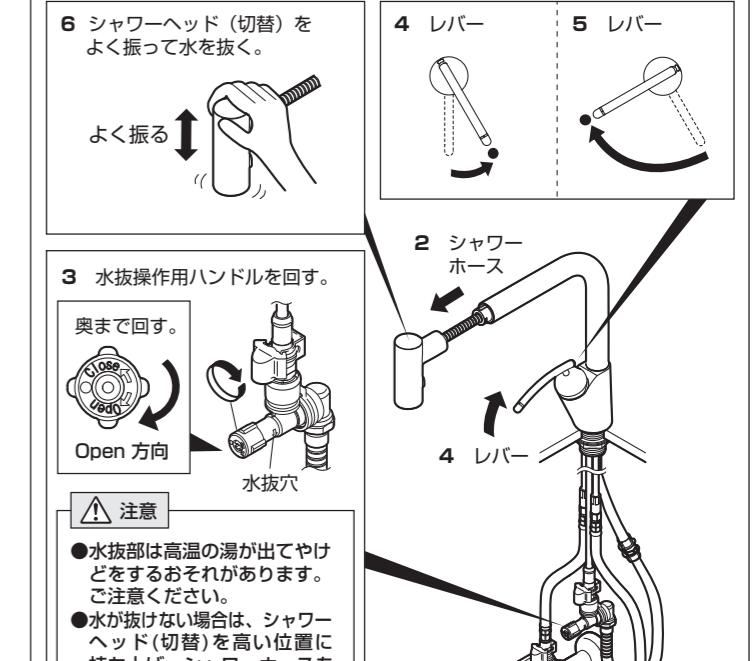
一般用でも凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。



凍結予防について 寒冷地用の場合（水抜方法）

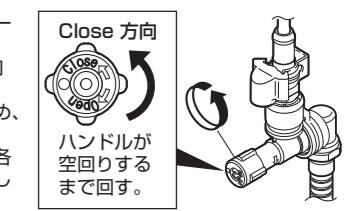
寒冷地用は寒冷地において配管中の水を抜く設備（水抜栓）とあわせて使用する製品です。凍結のおそれがある場合は、下記の方法で水抜きをしてください。

- 元栓を閉め、配管の水抜栓を開けます。
- シャワーホースを引き出せる位置まで引き出します。
- 水抜操作用ハンドルをOpen方向に奥まで回し、ホース内の水を抜きます。
- レバーを上げ、右側いっぱいに回します。
- レバーを上げたまま、左側いっぱいに回します。
- シャワーヘッド（切替）をよく振ります。



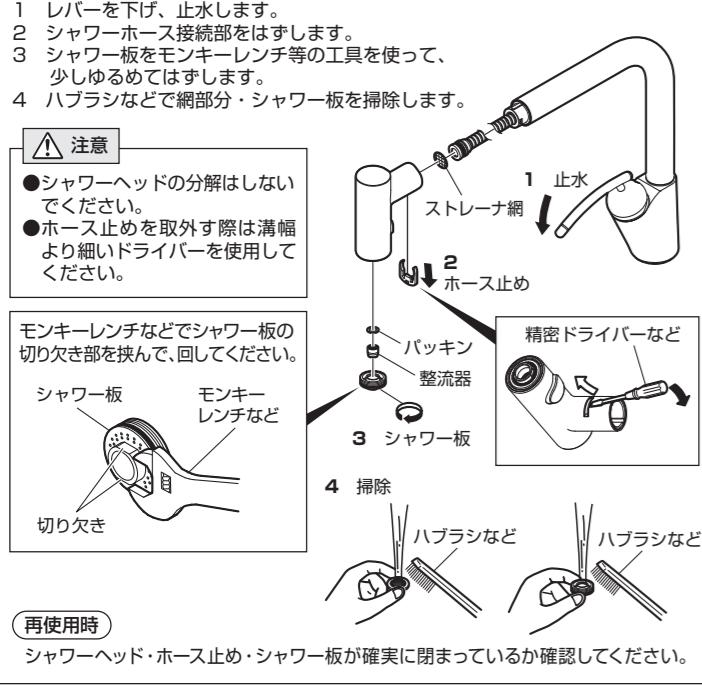
再使用時

- シャワーヘッド（切替）・シャワーホースを元の位置に戻します。
- 水抜操作用ハンドルをClose方向に空回りするまで回します。
- レバーを下げるまで配管の水抜栓を開め、元栓を開けます。
- レバーを上げて通水し、水抜穴・各接合部から水漏れがない事を確認してください。



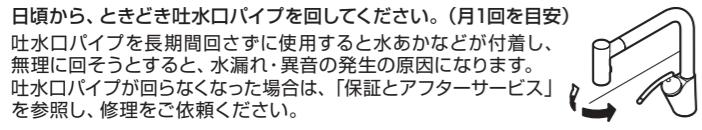
日頃のお手入れ ストレーナ・吐水口の掃除

ストレーナ・吐水口の汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できないことがあります。快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。(近所で水道工事があつたり、長期間使用し湯水の出が悪くなつた場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。)



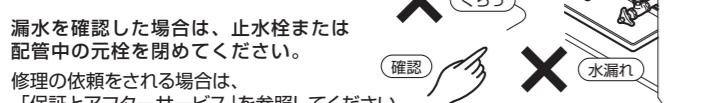
定期的な点検 可動部分の点検

可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。放置すると故障の原因になりますので、「保証とアフターサービス」を参照し、修理をご依頼ください。吐水口パイプの点検については下記を参照ください。



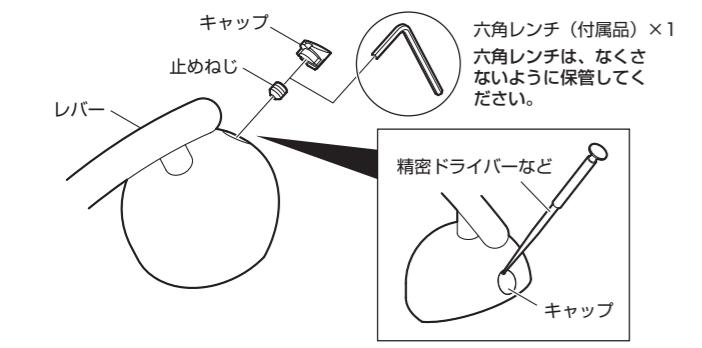
定期的な点検 配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。(年2回を目安)
定期的に、器具のガタツキがないか確認してください。(年2回を目安)
劣化・摩耗などで部品が破損し、やけどのけがをしたり、水漏れして家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。シャワーホースやその下が濡れていないか確認してください。



定期的な点検 レバーのガタツキ

レバーががたつく場合、止めねじがゆるんでないか、下記の操作を行い確認してください。
1 キャップの切り欠きに精密ドライバーなどを差し込み、キャップを少しずつはずします。(はずれにくい場合は、ハンドルの裏側から押すようにしてもはれます。)
2 止めねじを六角レンチで増し締めします。



以上の処置をされても不具合がなくならない場合は、「保証とアフターサービス」(P26)を参照し、修理をご依頼ください。

日頃のお手入れ 汚れの拭き取り

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなることがあります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかい布で拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

△注意

- 次のものは使用しないでください。変色や傷みのおそれがあります。
- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
 - ベンジン・ジンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
 - クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
 - ナイロンたわし・メラミンフォームなど
- レバー部に水をかけないでください。
レバー部より洗剤などが侵入すると、レバー動作が重たくなるおそれがあります。布などを使って拭き上げてください。

こんなときは 故障? その前に

修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

現象	点検項目	処置
流量が少ない	止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
ゴミづまりはありませんか。	ストレーナ・吐水口の掃除をする。	
高温しかでない	水側の止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
低温しかでない	給湯機から湯がきていますか。	給湯機の設定温度・作動を確認する。
湯側の止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。	
温度調節がうまくできない	湯側・水側の止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
給湯機から湯がきていますか。	給湯機の設定温度・作動を確認する。	
ゴミづまりはありませんか。	ストレーナ・吐水口の掃除をする。	
水はねが気になる	止水栓カレバーで水量を調節する。	

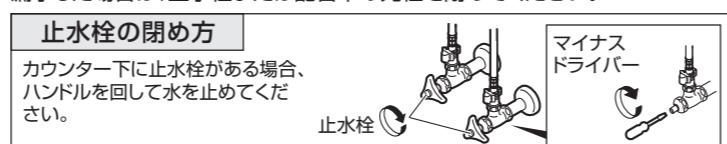
以上の点検を実施されても、不具合がなくならない場合はお手数ですがお買上げの販売店(工事店)に修理をご依頼ください。

- 修理される方は次の表に従って点検してください。

現象	点検項目
各接合部及びレバー上部から水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。各接合部からの水漏れの場合は、水漏れ箇所の部品を交換してください。レバー上部からの水漏れの場合は、シングルカートリッジを交換してください。
止水しても吐水口から水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。シングルカートリッジを交換してください。
シャワーホースから水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化のおそれがあります。シャワーホースを交換してください。

漏水した場合の処置

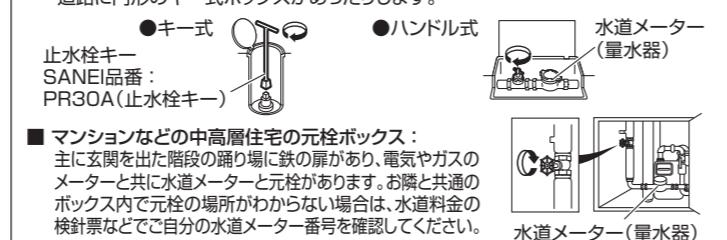
漏水した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。



元栓の閉め方

元栓ボックス(メーターボックス)のふたを開け、元栓を右に回して閉めます。
※元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。
※閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。
※一部の地域では左回しの場合はあります。
※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

- 戸建て住宅などの元栓ボックス:
主に玄関やガレージ付近の地面にあります。古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあつたりします。



以上の処置をされても不具合がなくならない場合は、「保証とアフターサービス」(P26)を参照し、修理をご依頼ください。

定期的な部品交換 シャワーホース・逆止弁の交換時期

シャワーホースの交換時期の目安: 5年

シャワーホースの劣化により水漏れして、家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。

逆止弁の交換時期の目安: 3~5年

万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。

■寒冷地用の場合

※逆止弁が内蔵されている水抜ジョイントを交換ください。参照: 施工説明書「本製品の構造」



※交換時期は、使用環境などにより異なります。
※逆止弁・シャワーホースの交換を依頼される場合は「保証とアフターサービス」を参照してください。

保証とアフターサービス

[保証について]

- この製品は保証書の内容に従って保証されています。
お買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名が記入してあることを確認してください。
- 保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。保証期間は保証書を確認してください。
- 保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

[水栓の定期的な点検・部品交換について]

水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。
摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としておりますが、逆止弁については、より安全を考え、早め(3~5年)の点検・交換をおすすめします。
(交換時期は、使用環境などにより異なります。)

定期点検・部品交換

使用年数

1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12

お客様による日常のお手入れ・点検

買替え
ご検討

摩耗劣化部品の交換

方法については、「日頃のお手入れ」・「定期的な点検」を参照してください。

摩耗劣化部品とは、日頃使用する度に摺動する、または摩耗及び劣化しやすい部品のことです。

摩耗劣化部品の例: シングルカートリッジ(バルブ開閉ユニット)・逆止弁(逆流防止弁)・シャワーホース・シャワーヘッド・レバー(ハンドル)・水抜金具・網(ストレーナ)・パッキン・オーリングなど

部品が摩耗劣化すると操作性低下、機能障害、劣化物流出や水漏れなどの原因になりますので、交換が必要です。

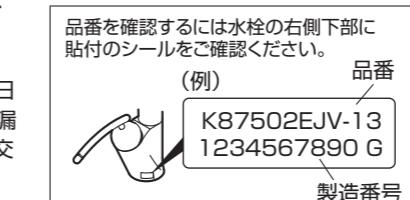
[補修用性能部品の供給期間]

この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの)の供給期間は製造中止後10年です。

[修理の依頼と部品交換の依頼について]

- 修理依頼と部品交換依頼先: お求めの販売店(工事店)又は当社
- 連絡していただきたい内容:

- 住所、氏名、電話番号
- 品番、品名
- お買上げ(お取付け)年月日
- 故障内容、異常の状況(水漏れ箇所の説明など)、部品交換の依頼
- 訪問希望日



- 当社の修理および部品交換料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。

「技術料」

診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。

「部品代」

修理および部品交換に使用した部品代。
(無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。)

「出張料」

製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

[部品のご購入や修理の依頼、ご相談は]

- まずは、お求めの販売店(工事店)へご相談ください。
ご不明な場合は当社カスタマーセンターへお問合せください。

水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理させていただく事を約束するものです。

保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店(工事店)にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。

お買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名など記入もれがありますと無効となります。必ずご確認いただき、記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出でてください。レシート又は領収書を貼付してください。

本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

品番	品番は製品本体に貼っているシールをご確認ください。
対象部品	期間(お買上げ日/お取付け日から)
保証期間	
販売店 工事店	店名 ()
電話	住所

SANEI 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号

カスタマーセンター ☎ 0120-06-9721

受付時間 9:00~17:30 (土日祝除)

ホームページ www.sanei.ltd